

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第758号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円(会費を含む))

●発行日—令和3年3月1日

●発行所—社団法人北海道手をつなぐ育成会

〒060-0002 札幌市中央区

北2条西7丁目かでる2・7(4F)

電話 011-251-0855

FAX 011-251-0804

Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

●発行人—佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

新たな挑戦!

胆振地区手をつなぐ育成会(親の会)連絡協議会

「オンライン(Zoom)」による

ブロック研修会開催

新型コロナウイルスと災害への危機管理(リスクマネジメント)

～ご家庭で災害に備えて準備しておくこと～

《取り組みの経過》

そもそものきっかけは、昨年9月頃にさかのぼります。新型コロナウイルス感染症拡大のためにあらゆる行事が中止となる中、室蘭市手をつなぐ育成会の鈴木事務局長から「胆振ブロックとして、何かできることはないでしょうか?」とお話がありました。さっそく同じブロックの苫小牧市手をつなぐ育成会、門内事務局長に電話で相談したところ、関係者によるZoomを使った「オンライン会議」を提案されました。室蘭、苫小牧、白老の三拠点をつなぎ、事務局長間で30分ほどの「オンライン会議(Zoom)」を開催。もちろん初めてでしたが、こうした方法が大変、有効なことを私自身が実感する機会となりました。

また、その際「保険代理店のJIC北海道支店が、育成会活動への支援のひとつとして、Zoomによる研修会の開催をサポートしてくれる」との情報をいただきました。さっそく、お願いをさせていただくと「全面的にバツ

クアップさせていただきます!」と、佐藤マネージャー様より心強いお返事をいただくことができました。

その後、日程や、研修内容の打ち合わせを実施し、年を越してしまいましたが、本年2月6日、初めてとなる「オンライン(Zoom)」によるブロック研修会を開催するに至ったのです。

《いよいよ研修会》

胆振ブロックは8地区育成会(室蘭・苫小牧・登別・伊達・白老・安平・穂別・厚真)で構成されています。何分にも今回は初の試み。ネットの接続環境や仕事の都合などもあり、研修会参加希望者のア



ドレス登録数は20件と多くはありませんでした。しかし、その内訳をみると、苫小牧と登別が個人視聴のみ。室蘭と白老では、個人視聴と複数のパブリックビュー会場を準備したことにより、実際の視聴人数は総勢40名ほどになりました。

《研修会を終えて》

- ・コロナはもちろん、自然災害への対応についても再確認でき、とても参考になった。
- ・他人ごとではなく、身近な問題、課題であることを認識できた。
- ・さっそく、ハザードマップを確認しようと思う。

といった感想が寄せられました。自宅でのZoom研修だった方で、ご主人と一緒に視聴した職員もおり「自分の仕事を理解してもらう上で、とても良かった」との声も届いています。

白老では所員(事業所利用者)さんと一緒に視聴をしました。内容的に少し難しく、事前のチェックが不十分だったことを反省しています。また、地方の育成会では、ネット回線への接続が難しい実態があるので、これらを今後の課題として、引き続き話し合っていきたいと思います。

事務局長 伊藤義幸

(一社)全国手をつなぐ育成会連合会

「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言」再発令に関する緊急要請(概要)

緊急要請(概要)

1. 強度行動障害児者への確実な医療アクセス
(1) 「障害者等受け入れ医療機関」について
全国一覧の公表を。
(2) 「障害者等受け入れ医療機関」において、強度行動障害児者の受け入れ拒否が発生しないような注意喚起と、対応に苦慮した際の相談窓口等の周知を。

2. 軽症者療養施設の利用確保と自宅療養時の支援

- (1) 障害児者が、軽症者療養施設を利用できるように、感染予防対策を講じた上で、介護職員の常駐配置や、必要に応じて派遣できる仕組みの実現を。
(2) やむを得ず、自宅での経過観察をせざるを得ない場合でも、必要に応じて感染予防対策を講じた上で、介護職員の派遣要請ができる仕組みの実現を。

3. 家族発症時の本人支援の確保

- (1) 全国各地における「家族感染時における本人支援の実態について」情報提供を。
(2) 相談支援事業所と連携した「緊急対応プラン」作成の必要性、また、その際、必要に応じた制度運用の改善や、地域内協議の推進等について、各市町村への周知

徹底を。

4. 緊急事態宣言、PCR検査手順の「わかりやすい版」の作成

- (1) 「緊急事態宣言」の対象地域、営業自粛要請の範囲、学校休校等に関する考え方や、その時々、内容に違いが生じており、当事者にとって分かりづらく、混乱が予想される。また、PCR検査時には検体採取時に恐怖を訴える事例が寄せられており、手順を示した「わかりやすい説明文書」やホームページ情報等の作成を。

5. 事業所に対する支援

- (1) 各都道府県ではクラスター発生時における看護・介護職員の派遣制度等について、体制整備が進められている。発生時の標準的な対処方法について、利用者にも理解できる形での情報提供を。
(2) コロナ感染症により生産活動が不安定化している事業所に対し、影響を受けにくい職域の情報提供や、就労支援系の事業所に対する生産活動に係る支援を。

(二社)全国手をつなぐ育成会会長

久保厚子

(令和3年1月)

全国各地から、多くの不安の声が寄せられている半面、効果的な対応、支援策が非常に少ない状況が続いています。一義的には、神奈川県、神戸市、東京都杉並区のように障がい児者専用の受け入れ施設を準備し、介護者

の配置や費用等について明らかにすべきと考えますが、全国一律での対応については、極めて困難と思われます。(げっぼう751号)で紹介)

道内においても、北見市手をつなぐ育成会(令和2年6月)、江別市手をつなぐ育成会(令和2年9月)、札幌市手をつなぐ育成会(令和2年10月)が、それぞれ、市に対して要望書(口頭も含め)を提出しています。各自治体とも概ね「個別のケースに応じて、受け入れ態勢の整った医療機関の情報提供や、受け入れ先での付き添い等について、保健所や関係機関との連絡調整を行い、連携して対応する」との回答を得ていますが、やはり、具体性に欠ける内容となっています。

当然、家族だけでの対応は難しく、公的支援を受けることになりますが、その場になって慌てないよう、自衛手段として、相談支援事業所と連携し、支援計画(Ⅱ「緊急対応プラン」)を作成しておくことが大変有効です。



コロナなんかには負けないぞ！

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、地域における様々なイベントは次々と中止されています。しかしだからこそ、各地の育成会では当事者の皆さんが少しでも楽しく、心豊かな生活が送れるよう、知恵を絞り、事業の開催を模索しています。二つの取り組みを紹介します。

友達テーマに

笑顔あふれる壁画作成

名寄

十分な活動スペース（旧下多寄小学校多目的ホール）と、細心の予防対策のもと、25名ほどが参加して「絵画教室」を開催。20メートルもの長い紙に向かい「友達」をテーマに思い思いの絵を描き、色をつけました。「数十年ぶりに絵を描いた！」「僕の顔も描いて！」等々、マスクの下は笑顔で一杯。個性あふれる壁画が徐々に完成していきます。



一日も早く感染拡大が終息し、みんなの笑顔はじける姿が戻ってくることを心から願っています。

（名寄心と手をつなぐ育成会

長谷川事務局長）

コロナに負けるな！事業所応援キャンペーン

企画：北海道手をつなぐ育成会 通所事業所連絡協議会

道育成会では新型コロナウイルス禍で生産活動収入が減少した事業所への応援キャンペーンを企画しました。この機会に普段なかなか手にできない全道事業所の製品をお取り寄せされてはいかがでしょうか。

ワークセンター栗の木（特非）栗山町手をつなぐ育成会／栗山町

栗の木全粒粉で作ったパンとお菓子と手作りジャム

3,000円（税込・送料込）



- ふすまパン2本 ■ハスカップジャム（90g）1個 ■ルバーブジャム（90g）1個
- スティックブランプレーン（8本入り）1個 ■スティックブラン黒石（8本入り）1個
- 全粒粉ラスクバターシュガー（12枚）1個 ■全粒粉ラスクシナモン（12枚）1個

【ご注文方法】

- ①注文される方のお名前
- ②注文される方のご住所、電話番号
- ③お届け先のお名前、ご住所、電話番号
- ④注文数を明記の上
【E-mail】 npo-kurinoki@taupe.plala.or.jp
【FAX】 0123-72-4073
のいずれかでお申し込みください。



メールアドレスはこちら

【お支払方法】

クロネコヤマトの代金引換にてお送りいたしますので、商品到着時に配達員に3,000円をお支払いください。

【締切】 5月31日（月）

【発送日】 ご注文後、5日ほどでお届けします

手づくりカードで

互いにエールの輪

登別

登別市手をつなぐ育成会では、「当事者からエールを送ろう！」と、2月2日、『エールカードづくり教室』を開催しました。フロア登別の仲間がコロナ感染症防止を呼び掛ける様々なデザインのカードを作成。活動の輪を広げようと、当日参加できなかった皆さんにも、カードキットを送り、身近な人にエールを広げてほしいとお願いしました。会員さんによつては、お父さんが凝りに凝ったカードをつくって娘さんに贈られていました。コロナ禍であっても一枚の「カード」

が交流の輪を広げることに繋がりました。今後、作成したカードは順次、医療従事者や関係機関にも郵送し、育成会らしい「元気を発信する活動」を進めていきたいと思っています。

（登別市手をつなぐ育成会

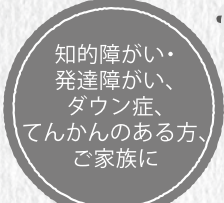
山田事務局長）



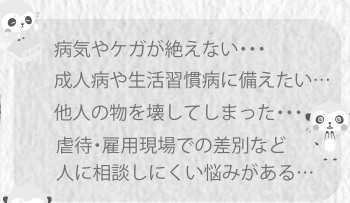
今後の予定

3月22日（月）

第4回理事会



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に



病氣やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康組合保険（特約付）2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの

こども傷害保険

権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



0120-322-150

平日9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

【2020年1月作成 19-T06633】

知的障がい児者・自閉症児者の
生活サポは **家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病氣やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…
全国で約145,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

**AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病氣やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
病氣で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年12月現在の内容です。(D-004961 2022-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
通所事業所連絡協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 (4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

**NPO法人新得町共同作業所かりかち工房
新得町手をつなぐ親の会**

〒081-0012 上川郡新得町2条南3丁目5番地
電話&FAX (0156)64-6333
E-mail: karikachikoubou@bz03.plala.or.jp

★地域活動支援センターⅢ型
☆定員…15名

★主な作業
☆公園トイレ等清掃作業
(町委託事業)
☆ハガキ作り
☆カラーキャンドル作り
☆布フクロウ作り
☆冬イベント開催(雪灯り広場)
☆夏・秋の交流会開催



冬イベント(雪灯り広場)